

ラミフィルム・リサイクル通信

第1号 (6月2日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

えっ？！ラミフィルムがリサイクルできるってホント？

原反メーカー、印刷工場、製袋工場などから、毎月山のように出る廃棄ラミネートフィルム。

単層のフィルムと違い、性質の異なる樹脂を張り合わせて作られたラミフィルムはリサイクル不能で、現状ではゴミとして燃やしてしまうしか処分方法がありません。皆様も、毎月何トンも出るラミの山を前に、「もしラミフィルムの処分料がゼロになればなあ。」「もしこれが有価で引き取ってもらえればなあ。」と思っていらっしゃることと思います。

実は、そんな悩みを解決できる方法が、技術的に完成しつつあります！

申し遅れました。わたくしたちは「ラミネートフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会」と申します。大阪ガスが開発した特殊な添加剤技術を利用して、PETがベースになったラミフィルム(PE/PET, PE/PA, PP/PETなど)を、もういちどプラスチック製品に加工できるような再生ペレットに生まれ変わらせる方法を完成、そして、全国的に普及させることを目標に、東京の廃プラスチック商社・ファー・イースト・ネットワークが中心となり、関東近県のプラスチック再生業者、フィルムメーカー、化学メーカー、大学教授などがチームを組んで、今年の2月に結成されました。現在、技術的には、PE/PET, PE/PA ラミでほぼ完成間近。再生ペレット商品化のための原料となるラミ引き取りを、まもなく開始予定です。PP/PET、アルミ箔付ラミについては、物性の高い再生原料にするための研究とトライアルを行っている段階です。

今まで払っていた処分料がゼロになる、あるいは有価買取になる。ゴミにしかならなかったラミフィルムが、リサイクル可能になる。しかも、サーマルリサイクルではなく、もう一度使えるプラスチックに生まれ変わる。ラミネートフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会は、軟包装業界の皆様に「よかったです！」と喜んでいただき、かつ環境に貢献できるラミネートフィルム・リサイクルシステム確立を目指して、日々活動しています。

今後、定期的に、この「ラミリサイクルニュース」を通じて、ラミネートフィルムリサイクルについての詳しいご説明、プロジェクトの進捗状況などをレポートしてゆく予定です。

本日は最後まで目を通していただき、大変ありがとうございます。
ぜひ今後とも、よろしくお願ひいたします。



【新入社員・えりのおトボケ日記】

はじめまして。4月3日に㈱ファー・イースト・ネットワーク入社したばかりの新入社員、志賀口えりです。一ヶ月まではプラスチックに種類があることさえ知らなかったので、今は毎日勉強の連続ですが、楽しくやらせていただいています。私たちのようなプラスチック買い入れ業者は、プラ判別の際、燃焼させて煙の様子や匂いをチェックするのですが、先日はお取引先でPOMという樹脂の煙（超有毒！）を知らずに深呼吸して倒れそうになりました。早く一人前になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

志賀口えり

事務局：㈱ファー・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカンプラザ A館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第2号 (6月6日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

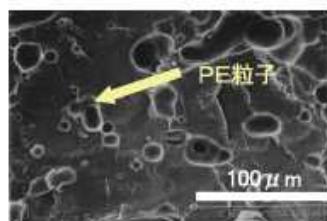
教えて!! どうしてラミフィルムがリサイクルできるの?

皆さん、そんな疑問を抱かれるのは当然のことでしょう。

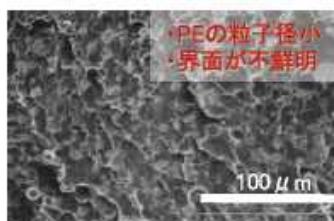
これまでの常識では、複数の性質の違う樹脂を溶かしてペレット化した場合、樹脂同士が均一に混ざり合わないため、品質のよい再生原料はできないというのが当たり前でした。

ところが、大阪ガス(株)が開発した特殊な添加剤を複合樹脂フィルムに加えて加熱・溶解することで、樹脂同士を分子レベルで結合させ、高い物性を持つ再生材料に生まれ変わらせることができるのです！

(右：電子顕微鏡写真による比較)



PE/PETラミのみ



PE/PETラミ+添加剤

ラミフィルム・リサイクル・プロジェクト発足!

ラミフィルムのリサイクルは不可能。そんな常識を覆すこの新技術を全国的に広めていくため、「ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会」が結成され、2006年2月22日、記念すべき第一回会合が開かれました。

ラミ・リサイクル・プロジェクト委員会は、東京の廃棄プラスチック商社・(株)ファー・イースト・ネットワーク村井健児社長をリーダーに、関東近県のプラスチック再生業者、原料メーカー、化学メーカー、大学教授などをメン

バーに構成されています。

左の写真は第一回会合の模様です。

大きな「2007年2月22日 月間5000トンリサイクル達成！」の垂れ幕は、村井社長が「このプロジェクトを絶対成功させる！」という決意表明のため作ったもの。一年後の同じ日までに、全国から月間5000トンのラミフィルムを回収し、再生ペレットに生まれ変わることを目標に、一足早くお祝いの垂れ幕の前でバンザイしお祝いしました！

プロジェクトの現在までの成果、今後の計画等につきましては、ラミリサイクル通信・第3号でお伝えいたします。



成功を願って前祝い！ちなみに前列右端がワタシです。

【新入社員・えりのおトボケ日記】

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。社長命令で人生初のダイレクトメール発行作業に取り組んでいる志賀口えりです。毎日マニュアル片手にパソコンと格闘していますが、なれない事をやるのは中々ストレスがたまります。そんな私のストレス解消法は「岩盤浴」に行くこと。遠赤外線を放出する石を敷き詰めた暑いお部屋に入ること30分、全身から信じられないほどの汗が噴出し、全身がポカポカスッキリ気分爽快になります。まだ試したことがないという方は、是非一度体験してみてください！ただし、岩盤浴で汗をかいた後はビールがものすごくおいしいので、飲みすぎないよう要注意ですよー。

志賀口えり

事務局：(株)ファー・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカソプラザA館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第3号 (6月8日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

2005年8月・ラミフィルム再生ペレット化トライアルの模様

さて、第2号でお約束したとおり、今回はラミフィルムリサイクルプロジェクトの進捗状況をお伝えします。

2005年8月17日、茨城県のとあるプラスチック再生業者様の工場にて、記念すべき第一回のトライアルが行われました。参加者は、このプロジェクトの発起人である株式会社イースト・ネットワーク 村井社長、この技術の鍵となる添加材を開発された大阪ガス(株)のご担当者様、工場設備を提供していただいた再生業者の社長様、および工場の皆様です。

普段は PE フィルムの再生ペレット加工をメインに行っている工場スタッフの方々が、初めての体験に「一体なにが始まるの？」と見守る中、PE/PET ラミの食品袋が、添加剤とともに、プラスチックを溶かす混練機に投入されました。



ラミフィルムを混練機に投入。

そして…、混練機の出口から出てきたのは、立派なストランド！表面もつややかで、ねじっても引っ張っても切れません！詳しく説明しますが、ペレットを作る際には、一旦プラスチックを混練機で溶かし長いヒモ状にした後、小さくカットします。このヒモのことをストランドと呼ぶのですが、種類の異なる樹脂が混じっている場合、出てきたストランドの表面はザラザラ・ボソボソした感じになり、強度も低いのが普通です。

ところが、ここまでキレイなストランドが出るとは、添加剤の力で PE と PET がしっかりと混じり合っている証拠！今までゴミとして燃やすしかなかったラミフィルムに、マテリアルリサイクルへの道が開かれた瞬間でした。



これが混練機から出るストランド。
スパゲッティみたいですね。

その後も何度も PE/PET ラミフィルム・トライアルを重ね、現時点では PE/PET ラミに関しては問題なくペレット化でき、また、再生 PE ペレットとほぼ同じような物性が得られることが分かっています。また、今年2月には、「ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会」が組織され、この技術を全国に広めてゆくため活動中です。

さて、次号 DM では、「プロジェクト進捗状況・第二弾」と、「ラミリサイクル・今後の課題」をテーマ取り上げる予定です。お楽しみに！

【新入社員・えりのおトボケ日記】

実は、最近引越しをしました。一人暮らしを始めたため、やれ冷蔵庫、洗濯機、ベッド…と出費がかさんで、もう家具を買うお金がない！(涙) そんな私の力になってくれるのが 100 円ショップです。100 円の小さなラックをネジで組み合わせてペイントしたり、100 円スノコをレンガで積んだりすれば、とても安物とは思えない可愛いラックや棚ができるんですよ！食器や小物も結構いいものがあります。ポイントは、色やデザインを統一すること。我が家は白をメインカラーに、木製品や植物をたくさん置いたナチュラル系のお部屋に仕上りました。100 円食材も、一人暮らしにはちょうどいい分量で重宝しています。ありがとうございます！100 円ショップ。もうアナタなしでは生きられません。

志賀口えり

事務局：株式会社イースト・ネットワーク
〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-1-7

ダイカンプラザ A 館 415 号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第4号 (6月13日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

ラミリサイクルプロジェクト・次なる課題とは？

PP/PET ラミ：再生ペレット化への道

第3号でお伝えしましたように、PE/PET ラミリサイクルについては国内で既に4回のトライアルを実施済みで、現時点で技術的にはほぼ完成水準にあります。ラミリサイクル・プロジェクト委員会では、次なる目標を食品軟包装に多く使われている PP/PET ラミに絞り、現在、技術開発のためのトライアルを行っています。

実は、この PP/PET の組み合わせ、一筋縄でいきませんでした。というのも、PP、PETとも、加熱すると流動性が非常に高まる樹脂であるため、添加剤を加えただけでは十分混練(異なる樹脂を混ぜ合わせること)ができず、再生ペレットへの加工が難しいのです。しかし、数々の試行錯誤を重ね、他樹脂を配合するなど様々な工夫を重ねることで、トライアルレベルでの再生ペレット化成功にこぎつけました。今後は、早期の量産化技術の完成を目指し、今後もトライアルを重ねていく予定です。

アルミ箔付きラミ：アルミ除去の壁

また、もう一つの課題として、アルミ箔を張り合わせたフィルムからのアルミ除去があげられます。金属であるアルミは、プラスチックが溶解する温度では固体のままであるため、ペレット化しても不純物として残ります。再生原料として利用可能なペレットを作るためには、まずこの不純物であるアルミを除去しなければなりません。現在、当委員会では、アルミ片を除去する特殊技術の情報を収集中。トライアルに向けての準備を行っております。

リサイクル通信5号では、今回紙面のスペース上お届けできなかった「プロジェクト・今後のスケジュール」をお届けします。

【新入社員・えりのおトボケ日記】

食べることが大好きな私にとって、ランチは一日の最大の楽しみの一つ。そんな私の超お気に入りの店が、会社の目と鼻の先にある「東京麺通団」です。ここは、入り口のカウンターで出てきたうどんに自分でてんぷらや葱、薬味類をトッピングしてゆく、本場讃岐の製麺所スタイルを踏襲した店。コシのある麺に、ちょっと香りが強めのダシがたまりません。お薦めのメニューは「めんたま」。ゆでて水切りしたうどんに、卵とバター（！）、しょうゆ、そしてメンタイコを乗せて、まぜまぜするのですが、カルボナーラっぽい味わいが、一度食べると病み付きです。皆さんも、新宿まで来た際は是非麺通団へ！

志賀口えり



事務局：(株)ファーイースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-1-7

ダイカンプラザ A 館 415 号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

配信不要の方は、お手数

ですが上記電話番号までご連

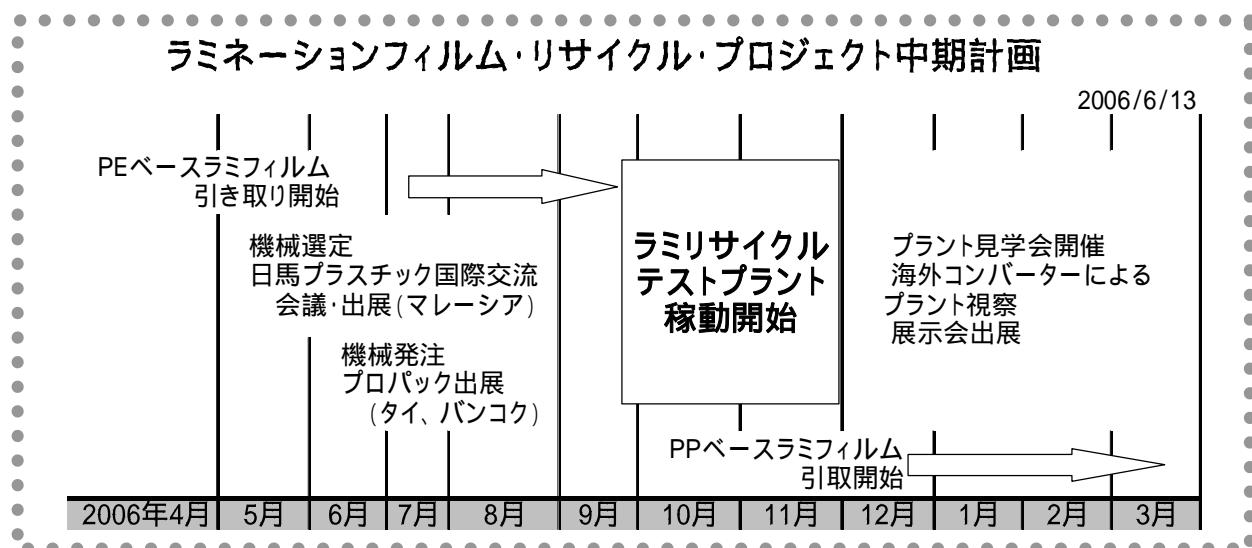
絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第5号 (6月15日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

ラミリサイクルプロジェクト・今後のスケジュール

1号から4号まででお伝えしてきましたラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトですが、今後は下図のようなスケジュールで進行していく予定です。



現在、ラミフィルムの特性に合わせた特製の混練機(樹脂を溶かし、ペレットを製造する機械)の設計が終わり、今月中旬には機械メーカーに発注をかける予定になっています。機械の納期は10月から11月。その後、群馬県前橋市にテストプラントをオープンし、PE/PETラミ・リサイクルペレットの本格的な製造の開始、および、PP/PETラミ・リサイクルペレットの量産化システムの完成を目指してトライアルを行っていきます。

さて、リサイクル通信6号では、大阪ガス㈱様による、日本/マレーシア プラスチックリサイクル交流会議への出展の模様、および、現地での評判についてレポートいたします。お楽しみに！



テストプラントに入る予定の機械と機械と
同モデルの混練機

【新入社員・えりのおトボケ日記】

さて、私、志賀口ももう入社2ヶ月。今までボスの村井社長と共に取引先を回っていましたが、そろそろ一人で営業に行かれる時期になりました。実は、先週の月曜がはじめてのアポイントだったので。行き先は、なんとあの超一流企業の「商事」！突然社長から、「シガグチさん、月曜一人で商談に行ってきて。まずは腹ごけだ。」と言われて急に胃がキュキュッと痛くなるのを感じましたが、社長命令とあれば断るわけには行きません。冷や汗をかきながら当日のアポイントの時間を迎えた新入社員・志賀口でしたが、先方のご担当の方が非常に親切にしてくださり、無事商談を終えることができました。これから皆様の会社にもお伺いすることがあるかもしれませんが、その際は、よろしくお願ひいたします。

志賀口えり

事務局:(株)ファーイースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカンプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

日本/マレーシア・プラスチック国際交流会議

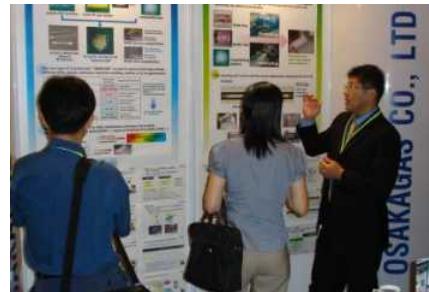
第6号 (6月20日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会
出展報告！

去る5月9日から10日の2日間、マレーシアのクアラルンプールにて、日本とマレーシアのプラスチックの専門家がプラスチックの最新技術について発表・交流を行う国際会議「第3回日馬プラスチック国際交流会議」が開催されました。

会場には、当プロジェクト委員会のメンバーである大阪ガス(株)が展示ブースを出展、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトをマレーシアの皆様にPRしました。50社以上の地元企業がブースを訪れ、また、10社の企業とは継続コンタクトを約束するなど、マレーシア、シンガポールの皆様にも、当プロジェクトは非常に高い関心を持って迎え入れられたようです。

また、地元の業界新聞「Plastic News」に当プロジェクトが掲載され、現在までに、編集部には数件のコンタクトが寄せられているとのこと。なんと、今年の秋の前橋・試験プラントオープン後には、マレー、シンガポールの企業様をお招きした見学会・「ラミリサイクル・ジャパンツアー2006」の開催が決定しました！皆様にラミリサイクル・プロジェクトを知って頂き、ラミフィルムのリサイクルシステムをアジアで構築する足がかりになる、貴重な2日間となりました。

また、当プロジェクトを率いる(株)ファー・イースト・ネットワーク村井健児社長が、6月14日から18日にわたって、タイのバンコクにて開催されたプロパックASIAに出展。タイの皆様にラミフィルムリサイクル技術をPR中いたしました。詳細は次号のラミリサイクル通信にてご報告いたします。



大阪ガス(株)ブースの模様。
お客様への説明にも熱が入ります。

第二回・ラミリサイクル・プロジェクト委員会 会合開催



第二回会合の一コマ。

会場は新宿センタービル53階のレストラン。写真では、あのすばらしい夜景が見えず残念！

5月22日には、当ラミリサイクル・プロジェクト委員会の第二回会合が、新宿にて開催されました。

まずは、プロジェクトリーダーの村井より、プロジェクトの進捗状況と今後のスケジュール等についての報告。その後、大阪ガス(株)の展示会報告、(有)秋葉樹脂の「添加剤技術を用いたLDPE/PETの新リサイクル形成材料」の紹介が続き、会員の注目を集めました。

また、報告会の後には懇親会が開かれ、メンバー同士が親睦を深め、様々な情報交換を図る、有意義なひと時となりました。

[新入社員・えりのおトボケ日記]

この「リサイクル通信」も発行を始めてはや2週間あまり。嬉しいことに最近、各地の企業様より問い合わせを受けることが増えてきました。お問い合わせいただいた皆様ありがとうございます！「これからも頑張って作るぞ！」とヤル気がますます出ます。ところで先日、香川の企業様よりお電話をいただきました。ちょうど4号で私の愛する讃岐うどん店・東京麵通団のことを書いた翌日だったため、内心、「讃岐うどんパワーが呼び寄せたに違いない」と確信しました。これから皆様と、うどんのように長く、コシがあってなかなか切れない関係を作っていくらと願っています。よろしくお願ひいたします。

志賀口えり

事務局：(株)ファー・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカソプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

配信不要の方は、お手数

ですが上記電話番号までご連

絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第7号 (6月27日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

プロパック Asia in バンコク 出展報告！

先日、タイのバンコクにて開催されたアジア最大規模の印刷関係の展示会・*ProPack Asia in バンコク*。今回はラミフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会を率いる(株)ファーイーストネットワーク代表・村井健児社長が、タイの皆様にラミフィルム・リサイクル技術をPRするため、単身タイに乗り込み出展いたしました！

*ProPack Asia 2006 in バンコク*の会期は6月14日～17日の4日間。6月とはいえども、東南アジアではもう気候は真夏並み。スーツを着ているだけでどんどん汗が噴出していくくらいです。やはりパッケージ関係の展示会だけにペットボトルや詰め替えパウチなどの展示がメインの中、当プロジェクト委員会を代表して村井社長がラミリサイクルをPRいたしました。



展示ブースの様子。(上、下)

タイ政府は現在、日本における「容器包装リサイクル法」のような制度をつくろうとしている時期であるため、業界内部でも「リサイクルを進めよう！」という動きが高まっています。そんな追い風もあり、地元タイの業界団体関係の方やマスコミ・調査関係を中心に、ラミリサイクルプロジェクトに高い関心を示されるたくさんの皆様に弊社ブースに立ち寄っていただきました。やはり、今までリサイクルできていなかったプラスチックがリサイクルできるようになる事が注目を集めたようです。うち、7社様とは継続コンタクトをお約束。何とこのリサイクル通信も、今後タイの業界団体、Thai Packaging Association様、



Thai Packaging Center様に配信されることが決定しました！また、タイの皆様から、逆に日本の企業様を紹介していただくことも多く、非常に実りの多い展示会となりました。



熱心にお客様に説明する村井社長(右)。

さて、皆様もこれまでのリサイクル通信をお読みになって、このプロジェクト委員会の代表・村井社長とはどういう人物なのか気になっているのではないか？次回のラミフィルム・リサイクル通信では、このラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトを率いる、(株)ファーイーストネットワーク代表・村井健児社長のインタビューを掲載いたします。お楽しみに！

【新入社員・えりのおトボケ日記】

学生時代からの私の得意科目は英語です。以前、アメリカに文通相手がいたこともあり、英語を書くのはお手の物。海外のプラスチック・バイヤーたちとの交渉も、バリバリ英文メールでこなします。が、そんな私の弱点は英会話。受験勉強で読み書きは鍛えられましたが、いかんせん、同じことが口から出てきません。言語学者によると、残念ながら、書くのと話すのは全く別の能力なんですって。

先日は香港バイヤーから電話があったのですが、中国語アクセントの英語が全く分からず、返答もままならないでオロオロしている間に電話が切られてしまいました。ああ、ショック。(涙) 真剣に駅前留学を検討中です。

志賀口えり

事務局：(株)ファーイースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカソプラザA館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

ラミリサイクルに賭ける情熱：村井社長インタビュー

さて、このリサイクル通信の読者の皆様は、「ラミリサイクルプロジェクトはどんな人がやっているのかな？」と気になっているのではないか？今回は、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトを率いるリーダー、株式会社アースネットワーク・村井健児社長のインタビューをお届けします！

Q: ラミリサイクルに着目した理由は？これまでの常識ではリサイクル不可能な素材にあえて取り組む理由を教えてください。

A: (村井社長) 何といっても、大阪ガスの添加剤に出会ったことです。これまで複合樹脂はリサイクルが不可能で、複合樹脂廃棄物の買い取りのご相談をお断りせざるを得ず残念に思ったことが何度もありました。ところが、この添加剤を使えば、複合樹脂にもリサイクルの可能性が見えてきます。複合樹脂の代表格であるラミフィルムは発生量が非常に多く、全国約300工場から、それぞれ20t～100t/月のスクラップが発生しています。この解決策を確立すれば、長年の目標であった、「本当の意味で、環境保護により効果的な貢献をする」ことが可能になるという考えに至り、ラミフィルムリサイクルにフォーカスすることにしました。

Q: 技術的完成にめどが立ち、ちょうどラミリサイクルの営業に回り始めたところですが、皆さんの反応はどうですか？

A: (村井社長) 皆さん色々な解決策を模索していらっしゃいますが、やはり、まだ根本的な解決策には至っていないようですね。そんな中で、このラミリサイクルに関心を持ち、積極的に導入に動いてくださる大手の会社などもあり、今後はかなり速い

スピードで普及していくと予想しています。また、中国、タイ、マレーシア、インドなどからも問い合わせが来ており、ラミリサイクルの潜在的需要の大きさを確信しました。技術的完成に近づくに連れて、業界団体、プラスチックの専門家、ラミフィルム業界に明るい方、海外の取引先など、加速度的にいろいろな方のご協力が得られるようになってきており、ネットワークが急速に広がっています。

ラミリサイクルについて熱く語りだすと止まらない村井社長。次号では、村井社長インタビュー・そのをお送りします。

【新入社員・えりのトボケ日記】

志賀口えり

さて、6月中旬は村井社長がプロパック ASIA 出展で長期間留守にしていたため、まだ仕事に慣れない私にも容赦なく色々な仕事が回ってきて大変でした。先日は、はじめて自分でプラスチックに値段を付けて売り先にオファーしたのですが、なんせ値段出しも価格表作成も未体験ゾーン。作業を進めるうちに、「あっ、あれ聞き忘れた！」、「これ確認し忘れた！」と不明点がワンサカ出でます。結局、プラを出していただく工場に何十回も電話することになり、本当に穴があいたら入りたいくらいでした。でも、頑張っていればいいこともあります。サンプルを取りにお伺いしたところ、なんと工場長にお昼をご馳走していただきました。しかも豪華なお刺身定食 工場長、ありがとうございました！



村井健児

株式会社アースネットワーク代表取締役
1968年生まれ。東京大学で写真測量技術を教えつつ環境破壊に取り組む父と、地域の空き瓶リサイクル活動を行っていた母の影響で、幼少より環境保全に关心を持つ。慶應大学卒業後は三菱銀行に入行。7年間法人融資を経験した後、「ビジネスで環境に貢献したい」と、年収が半分以下の条件で環境雑誌の出版社に転職。3年後、プラスチックリサイクルに出会い、廃プラスチック商社勤務を経て平成15年会社設立。リサイクル不能だったラミネーションフィルムのリサイクルシステム確立のため、精力的に活動中。元ラガーマン、二児のパパ。座右の書は中村天風著作。

事務局：株式会社アースネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザ A館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第9号 (7月11日号)
発行元：ラミニーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

ラミリサイクルに賭ける情熱：村井社長インタビュー

今回は、前回に引き続き、ラミニーションフィルム・リサイクル・プロジェクトのリーダー・(株)ファー・イースト・ネットワーク村井健児社長のインタビュー第2弾をお送りします！

Q: 読者の皆さんのが一番気になっているのは、ラミフィルムから作られた再生ペレットの用途ですが、それについてについて詳しく教えてください。

A: (村井社長) まず最初は、床材シートやアルミコンポジットパネルなど、建材用途に展開をしています。製品精度の要求がさほど厳しくないためリサイクル原料に適した用途であるだけでなく、量も大量に使われるため、全国の印刷工場、フィルム・製袋工場から大量に出るラミフィルムを原料としたペレットの用途としてはいいターゲットとなります。同時に、梱包用の木材代替としての用途も開発していく予定です。輸出梱包には大量の梱包材が必要になるため、梱包用木材のための森林伐採は、大きな環境破壊を招いています。もともとゴミとして焼却されていたラミフィルムのリサイクルを森林保護に繋げることができれば最高にワクワクすることができますよね。

また、それに平行して、製品用途に合わせた高いコンパウンド技術の確立を目指しています。

Q: 最後に、ラミリサイクルにかける意気込みをお願いします。

A: (村井社長) 長年、「本当の意味で環境に貢献できる仕事をしたい。」と願い続けていたわけですから、こうして、「捨てる」あるいは「燃やす」しか処理方法のなかったラミフィルムをリサイクルし、再びプラスチック製品として生まれ変わらせるというシステム作りに取り組む機会に恵まれたことに本当に感謝しています。また、このプロジェクトを進めるうえで惜しみない協力をしていただいているメンバーにも恵まれ、プロジェクトに注ぐ時間は楽しいチャレンジでしかあり



建材パネル試作風景のひとコマ。

ません。これは、「天が私に授けてくれた仕事だ」と思い、今はこのプロジェクトに生活の全てを捧げています。海外での展示会出展からも、処理が困難なラミフィルムで困っているのは、世界中どの国でも同じと肌で感じることができました。その解決策を日本から発信できることはすばらしいことだと思います。それぞれの工場ごとに色々な事情はあるかと思いますが、バッターボックスに立つチャンスだけはいただきたいと思います。

松岡修三似・爽やか好青年系の村井社長ですが、ラミプロジェクトを語る時の目は正に真剣。炎がメラ燃えているようで、このプロジェクトに賭ける意気込みが伝わってきます。

今回は私、志賀口が皆さんを代表して4つの質問をしましたが、皆さんもまだまだ色々とプロジェクトについて知りたい点がございませんか？ご質問があれば、FAXのヘッダーに記載されている志賀口のメールアドレス(shigaguchi@fareastnetwork.co.jp)まで、お気軽にお寄せください。

次号では、コンバーターの皆様がリサイクルに当たりご心配されている問題点につきまして、解決策を提示して参ります。お楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記

先日、村井社長のご家族と一緒に食事する機会があったのですが、なんと言っても驚いたのは7歳の息子さんのご挨拶。レストラン中に響き渡る大きな声の「こんにちは！」。そして、何とお辞儀の角度が直角です！気持ちいいほどの礼儀正しさにすっかり感心してしまいました。「いい習慣はすぐに見習うべし」ということで、それ以降、私も大きな声での朝の挨拶にチャレンジしています。実際にやってみると、元気のない朝も気持ちが引き上げられる感じで気持ちいい！しかも、面白いことに、今まで黙っていた人が挨拶をしてくれるようになるなど、周りの人たちの態度まで変わってくるんです。是非皆さんも試してみて下さい！

事務局:(株)ファー・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

配信不要の方は、お手数ですが上記電話番号までご連絡ください。

ラミフィルム・リサイクル通信

第10号 (7月25日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

PP/PET混練大成功！ (7月21日・新添加剤トライアルの模様)

さて今回は、先週21日に行われたばかりのPP/PET用の新しい添加剤のトライアル試験の模様を、速報としてお送りします。(前回予告の内容は次号に繰越となります。)

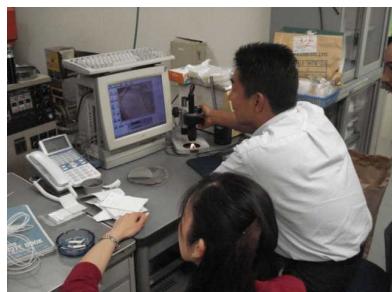
リサイクル通信・第4号でもお伝えしております通り、食品包装に使われる代表的フィルムであるPP/PETラミについては、それぞれの樹脂が持つ性質上、従来の添加剤では、再生原料化するにあたっての混練(樹脂を溶かし練り合わせること)やペレット加工が非常に難しいのが難点でした。「量産化のためには、もっと楽に混練ができなければ…」。そこで、大阪ガスがPP/PET専用の新しい添加剤を開発し、先日7月21日、そのトライアルが行われたのです。

会場は神奈川県にある、とある樹脂メーカー。出席者は樹脂メーカーA社長と従業員の皆さん、大阪ガスのエンジニア・阪本さん、そしてラミリサイクルプロジェクトより村井社長と私・志賀口です。この日のために、色々と配合を変えた4種類の添加剤が用意されました。

さて、実験開始！あらかじめ一定の比率で添加剤とブレンドされた樹脂が、ドンドン混練機の中に投入されていきます。期待のまなざしで見守るラミプロジェクトの会員たち。ところが、なんと樹脂がブクブクと発泡してしまい、ストランドが引けません。(ストランド：溶けた樹脂を溶かしてヒモ状に引っ張ったもの。これを冷やし、カットすると成型材料であるペレットになる。)予想外の展開に憂鬱なムードが漂います。そして、工場の応接室でしばし作戦タイム。参加メンバーがアイディアを出し合い、機械の条件を変更し再度トライすることにしました。



大阪ガス・添加剤開発スタッフの阪本さん。



物性をチェックする阪本さんと志賀口。

成功したペレットを抱え、最高の笑顔



ブクブクと発泡するストランド。大失敗。

そして、緊張の実験再開。詳しい条件は機密のためご紹介できませんが、今度は発泡が収まり、混練機からPPとPETが均一に混ざり合った美しいストランドが出てきました。混練大成功です！結局、4種の添加剤すべてのテストが終了したのは夜の10時過ぎ。トライアルを終えての祝杯のビールは最高においしかったです！

今回のトライアル結果を参考に、さらに添加剤に改良を加える必要があるものの、PP/PETラミ・リペレットの量産化に向けて確実な一步を踏み出した記念すべき一日となりました。

新入社員・えりのオトボケ日記

By:志賀口えり

さて、今日は最近面白かった本の紹介です。タイトルは“夢をかなえるそうじ力”。内容をかいづまんで言えば、「あなたの部屋はあなたの心の反映。目の前の汚れを放置するのは、自分が抱えた問題に目をつぶり放置するのと同じ。部屋をきれいにすれば心の悩みは自然と解消し、運も開ける。」とのこと。何と掃除を続けただけで、予定外の昇進を果たしたり、店が繁盛したり、夫婦円満になった方々の感謝の声が掲載されています。ホンマかいな？しかし、好奇心旺盛だけが取り柄の私・シガゲチ、早速、モノは試しとばかり毎朝のトイレ掃除を始めました。何でも、21日間続けると心理的变化が訪れ、物事がいい方向に動き出すそうです。さて、私にはどんなラッキーが降りかかるんでしょう？ひょっとしてヒルズ族社長に求婚されたりしちゃうんでしょうか？詳細は追って報告しますね

メールでの配信を希望される方は、

下記アドレスまでご連絡ください

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

事務局:株式会社・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第11号 (9月7日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ご無沙汰しております。ラミフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会の志賀口です。
リサイクル通信はしばらくお休みしていましたが、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトは着々と進行中です。久々に発行の今回のリサイクル通信では、今号・次号の二回に分けて、夏の間のプロジェクト進捗状況についてご報告したいと思います！

大公開！ラミプロジェクト・前橋テストプラント予定地！

当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会では、本年末(11月～12月頃)、ラミネーションフィルムを原料とする再生ペレット製造プラントのオープンを予定していますが、今回は、プラント予定地を取材に行ってきました。

8月上旬のある暑い日、はるばる東京より車で向かったのは群馬県・前橋市の力丸工業団地。ここに、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトのメンバーの一社である(有)八王子リサイクルの前橋第二工場があります。実は、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトのプラントは、八王子リサイクルにご協力いただき、こちらの工場内にスペースを借りてスタートすることになっています。

こちらの工場、実は、(有)八王子リサイクルのプラスチック擬木の製造工場なのです。既に稼動中の押出成型機の横に、当プロジェクト機械が設置される予定です。ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトでは、有力な用途先の一つとして擬木を考えていますから、この機械も将来、ラミリサイクルのためにフル稼働してくれるに違いません！



前橋工場外観。大きな工場です。
回収したラミもたくさん保管できそう



こちらが使用予定の機械。いい仕事をしてくれるこことを期待しています！

9月よりとうとう有価買取り開始！

当委員会のプラント用の混練機(樹脂を溶かしてペレット加工する機械)の予定納期は年末のため、前橋プラントのオープンはまだ少し先。当然、ラミ回収開始もう少し先…、のはずでした。ところが、ビッグニュースです！試験プラントオープンに先立ち、同じくラミフィルム・リサイクル・プロジェクトのメンバーである茨城県・八千代町の(有)森田加工所の工場をお借りして、一足早く9月中旬より、ペレットの試験生産が開始できることになりました！既に、関東近県のコンバーター様2社からのラミフィルムの引き取り開始も決定しております。いよいよ、ラミプロジェクトも本格的に始動はじめました！

さて、リサイクル通信・次号12号では、注目の用途開発実験の模様をお送りします。お楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記

少し古い話で恐縮ですが、8月のお盆はどう過ごされましたか？アウトドア好きの私・シガグチはハケ岳を縦走に行ってきました。今までトレッキングやハイキングは何度も経験があるものの、本格的な登山は初めて。目前にそびえ立つ垂直の岩場に「ありやー！こりゃエライとこに来ちまっただー」と一瞬涙目になりましたが、一步一步上ること数時間、無事、2899mの赤岳山頂に登頂成功しました！人間、あきらめず続ければいつか目的に到達できると感じた一日でした。

この勢いで、ラミフィルムのリサイクルペレットも売りまくります。目標は大きく2000トン！ 志賀口えり



下山道でゴミ拾い。だってリサイクルカンパニーの社員だもん

メールでの配信依頼は下記まで。

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

メールだと写真もよく見えますヨ！

事務局:(株)ファー・イースト・ネットワーク

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカンプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第12号 (9月14号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！すっかり涼しくなって、秋めいてきましたね。私としては「食欲の秋」が近づいてきてうれしい限りです。さて、前号に引き続き、今号はプロジェクト進捗状況のご報告。今回は特に用途開発にスポットを当ててみました。

OAフロア成型実験 決死の潜入レポート！！

現在、関東近県のプラスチック再生業者を中心に、約10社余りから構成されているラミ・リサイクル・プロジェクト委員会。その中でも、プロジェクトの技術面を支えているのが、日本屈指の高い技術力を誇る樹脂メーカーのA社。(スミマセン。名前はヒミツにさせてください。m(_ _)m) 再生樹脂のMFR(注1)コントロール技術を駆使し、ラミ・リサイクル・ペレットの物性を向上させるための配合や製造条件の工夫などの研究を担当していただいている。

(注1 MFRとは、プラスチックを溶かしたときの粘度のこと。プラスチックの成型方法を決定する際に重要な指標となります。)

そのA社が、ラミフィルムから作られたペレットの用途先として注目しているのがOAフロア。8月中旬のある日、私・志賀口はOAフロアの成型実験を見学させていただきました。

東京からはるばる車で数時間。着いたところは、A社の社長さんが長年お付き合いされているプラスチックの射出成型工場です。「ここの工場はねー、結構いい技術もってるんだよ。」とA社・社長。否が応でも期待は高まります。工場に入り、工場長と技術者の方にご挨拶、そして早速、特製ブレンド原料によるOAフロア用材料の射出実験が始まりました。

射出成型とはどんな成型方法かというと、一番イメージしやすいのがプラモデルのパーツ。金型の中に、小さな穴からプラスチックを吹き込んで成型する方法です。私・志賀口はこの日初めて射出成型機を見たのですが、一言で言ってデカい！今回のOAフロアの成型には、450トン・二個取りというタイプを使ったのですが、ほとんどゾウさん一頭分くらいあります。しかも、暑い！機械が発生する熱のため、工場内は「ここは熱帯？」と思うほどの暑さ。この日は特に気温の高い日だったので、暑さに弱い志賀口は、意識もうろうとしながらの決死の取材となりました。

プシューという音と共に金型に樹脂が吹き込まれ、待つこと数十秒。機械からできたてホヤホヤのOAフロアが出てきます。条件をいろいろ調整しながら、今回持ち込んだ原料分をすべてOAフロアに成型して、実験は終了しました。今回の実験でできたOAフロアは残念ながらややもろく、今後、配合に若干の工夫を加える必要がありそうです。しかし、用途開発・製品開発への貴重な足がかりとなった一日でした。

次回のリサイクル通信では、ラミリサイクルの鍵となる添加剤の開発元である大阪ガス＆大阪ガスケミカルより、営業担当の大久保さんにご登場いただきます。お楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記

By:志賀口えり

私はシガグチには、年の離れた姉がいます。先週、その姉が4歳の娘(わたしの姪です)を連れて東京に遊びにやってきました。今回の旅の目的は東京ディズニーランド。ところがウチの姪、広すぎるディズニーランドに「もう疲れた。歩くのイヤ」、乗り物の順番が来たのに「やっぱりコワイから乗らない」などなどワガママが炸裂。拳句には、手に持っていたぬいぐるみを落としてしまい、「クマちゃんがいない！」と炎天下で大泣きする始末。幸いぬいぐるみは出てきましたが、子供に慣れていない私にとっては、大変な修行の一日でした。しかし、感心したのはうちの姪の姿。幼い頃は気が強く、いつも私を泣かせていた姪ですが、今では本当に優しく、まるで聖母マリアのようです。「母になるって人を変えるんだなー。」としみじみ思いました。



これが今回使用した、450t射出成型機。
とにかく大きくてビックリ！



出来上がったOAフロアをチェック。

メールでの配信を希望される方は、
下記アドレスまでご連絡ください
shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

事務局:株式会社・イースト・ネットワーク
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-1-7
ダイキン「ラサ」A館 415号室
TEL:03-5337-3235
FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第13号 (9月27号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会の志賀口です。前号での予告どおり、今回・13号では大阪ガスグループより営業担当の大久保厚さんにご登場いただきます。

「浪速のマリコン商人」大久保厚氏(大阪ガスグループ)インタビュー

この、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトにおいて鍵となる役割を果たしているのが、大阪ガスが開発したプラスチック添加剤の「マリコン」。本来ならば、オレフィン系樹脂(PP・PEなど)やPAと、PET樹脂とは溶かしても混ざり合わないはずですが、このマリコンを加えて加熱・混練するとシッカリと混ざり合い、高い品質を備えた新しい樹脂に生まれ変わります。



大久保厚(おおくぼ あつし)

昭和43年生まれ。2004年、某中堅商社を退職し、大阪ガスケミカル入社。商社時代の海外駐在経験を生かし、マリコンの海外輸出を計画、ラミリサイクルシステムの海外展開を図る。将来の夢は家族と一緒に海外で暮すこと。「タイかアメリカに住みたいなあ」

にプラスチック・リサイクルに携わっている男がいる。どんなことやっているかよくわからないけど、信用できるやつなんで一回会ってみるか。」と株式会社イーストネットワークの村井社長を紹介されたわけです。

ラミ通信：「大阪ガスのような大企業が、よくこんな小さい会社と取り組む気になられたなあ」というのが正直な感想ですが…。

大久保：このマリコンビジネスに携わった時から、「将来は海外展開を」と考えていました。プラスチックリサイクル業界に精通していて、海外にも広くネットワークを持っておられたのが村井社長でした。会社の大小じゃなくて我々が目標を達成しようとする中で、足りないものを持っているのが、株式会社イーストネットワークです。それと商売はなんと言っても信用が大切ですが、実際、村井社長にお会いした時に「この人は信用できる人だな」と思いましたね。

次回・14号も、引き続き大久保さんご登場いただき、プロジェクトの今後の展望、大阪ガスグループ内の当プロジェクトへの期待度など、気になるところを語っていただきます。次号もお楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記 By:志賀口えり

私シガグチはアウトドア好き。毎年夏は富士登山が恒例なのですが、今年はちょっと趣向を変えて、夏の登山シーズン終了目前の9月16日、17日、「みんなの富士山をきれいにしよう」という趣旨で、友人たちと“富士清掃登山隊”を組織し富士山に行ってきました。

ゴミ袋とトングを手に登山開始！高度が上がって空気が薄くなつてゆくと、ゴミを拾うためしゃがんだだけで頭がクラクラしてきます。が、いったん始めたことは最後まで全うしなくては女がすたる！疲労にもめげず、ゴミを拾い続けます。結局、五合目～頂上の往復で拾ったゴミは、3人で45リットルゴミ袋4つ分。こんなにあるとオドロキでした。赤茶色に錆びたジュース缶や古~いガラス瓶の破片を見ながら、「人の作ったものが自然に戻るには膨大な時間がかかるんだなあ。ゴミは捨てちゃダメだね。」と認識を新たにした二日間でした。



気温0度の山頂で見たご来光。美しかった～

メール配信をご希望の方は下記までご連絡ください。

カラーで見ると楽しいです♪
shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

事務局:株式会社イーストネットワーク
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-1-7
タイカソフラザ A館 415号室
TEL:03-5337-3235
FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第14号 (10月5号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。今回のラミ通信・第14号では、前号に引き続き、大阪ガスグループ・プラスチック添加剤「マリコン」営業担当の大久保厚さんのインタビュー第二弾をお送りします。

'浪速のマリコン商人'大久保厚氏(大阪ガスグループ)インタビュー

ラミ通信：ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの技術面において鍵となる役割を果たしている「マリコン」ですが、これまでの販売実績を教えてください。



大阪ガスグループ・大久保さん(以下、大久保)：大阪ガスグループでは、リサイクルPETボトルとPEを原料にし、添加剤を加えて製造したりサイクルコンパウンド「マリコン」を販売していますが、既に文具、オフィス家具、土木資材の原料としての販売実績があります。また、自治体指定のゴミ袋用の原料として定期的に販売しています。また、ガス管工事の際に出るPEガス管廃材をリサイクルして作ったペレットを、ガス給湯器の電装基盤ケースの原料として使っていただいている。



マリコンを利用して作られた製品。
上：クリアファイル
下：ガス給湯器・電装基盤ケース

ラミ通信：大阪ガスグループ内での、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトへの期待度はどのようなものでしょうか？

大久保：期待度は非常に高いですね。全国で、主な印刷会社の工場が約300社ほどありますが、一つの工場で平均して30t程度のラミフィルム廃材が出るとすると、毎月全国で約1万tもの廃材が発生しているわけです。この莫大な量の廃材を有効にリサイクルする方法が確立できれば、ものすごい環境貢献ができますし、マリコンにとっても大きな市場となりますからね。

ラミ通信：最後に、このプロジェクトでの大久保さんの達成目標を聞かせてください。

大久保：まずは、日本国内のメーカーさん・プラスチック成型業者さんなど協力してラミフィルム再生ペレットを利用した製品開発・販路開拓をさらに推し進め、このマリコンによるリサイクル・システムを近いうちに日本国内で完全に確立させたいと思っています。それから、このシステムを海外に輸出して、世界中へ普及させていきたいですね！ラミフィルム廃材は世界中でリサイクル不可として燃やされているですから、世界中どこにいってもビジネス展開していく余地があると思いますよ。僕個人的には、早く海外ヘリサイクルシステムを輸出して、アメリカ支社へ担当者として赴任したいですねえ。商社勤務時代にニューヨークに駐在していたのですが、アメリカの生活が水に合うんですよね。

こちらまで幸せになってしまふようなニコニコ笑顔が癒し系な大久保さんですが、マリコンについて語る姿はまさに浪速のマリコン商人・ヤリ手営業マンそのもの。ラミリサイクル・プロジェクト委員会も頼もしい限りです。

さて次号では、9月27日に行われたビジネススペースでの初・ラミリサイクルペレット製造の模様を突撃レポートいたします。お楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記 By:志賀口えり

最近、私の一番の親友であるKちゃんに赤ちゃんが生まれました。出産祝いに何が欲しいか尋ねたところ、「えりちゃんが昔作ってくれたケーキの味が忘れられない。ケーキを作って！」とのこと。ここ数年、仕事が多忙でケーキ作りどころではなかったのですが、そういう訳で、先週の土曜久しぶりにチャレンジしました。

リクエストに答えて作ったのはシフォンケーキです。シフォンケーキはフワフワした食感を出すために大量の卵白を入れますが、泡立て加減が難しくなかなかハイレベル。しかも、数年ぶりですっかりカンが衰えており、卵を泡立てすぎてオーブンから出した後ケーキがしほむという、きわめて初歩的なミスを犯して失敗しました。昔はお菓子作りが一番の得意技だったはずなのに！(やしい～～！！)今週末、再トライしてリベンジを果たす予定です。

メール配信をご希望の方、当プロジェクトに関心をお持ちの方、是非下記までご連絡ください。待ってます

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当：志賀口

事務局：(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235

FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第15号 (10月12日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです。

さて、去る9月27日より、とうとう商業ベースでのラミフィルム・リサイクル・ペレットの生産が開始いたしました！15号リサイクル通信では、まずはラミ・リサイクル・ペレット初回生産の模様をご紹介いたします！

9/27 祝 初の商業ベース・ラミ再生ペレット生産開始！

9月27日、しとしと降る秋雨の中、向かったのは茨城県結城郡八千代町。ここに当ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトのメンバー・有限会社森田加工所の工場があります。ヤードに入ると、前日コンバーター様より搬入されたラミフィルム！眩しく輝いて見えます！

まずは大きなラミフィルムのロールをギロチンでカット。混練機(プラスチックを熱して溶かす機械)の投入口に入る形状に整え、工場内に搬入します。ダンボールで納品された小袋類は、投入口の脇で箱から出しながら、添加材と共にどんどん混練機に投入！スクリューで練られ溶けたラミフィルムは、混練機の小さな穴から噴き出されて糸状のストランドとなって水冷され、カットされてペレットになります。袋にどんどん詰め込まれてゆくラミ再生ペレットたち。4月から約半年と短いながらもラミプロジェクトに関わってきた志賀口にとって、感慨ひとしあのひと時でした。

いつものペレット化実験では、数百キロしか生産しないため早く終わってしまうのですが、この日は約5時間機械が稼動。無事、初の商業生産を終えたのでした。

ジェイ・フィルム 畔蒜室長様インタビュー

実は、当プロジェクトにコンバーター第一号としてラミフィルムの提供をしていただいたのが、千葉県・香取市のジェイフィルム成田工場様です。何と今回、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトへのご協力にGOサインを出された、ジェイフィルム成田工場・環境安全室長の畔蒜(あびる)様にご登場いただけました！

ラミ通信代表・志賀口(以下、ラミ通信)：まず、初めてこのラミフィルム・リサイクル・プロジェクトについてお知りになったのはいつごろですか？

ジェイフィルム成田工場・畔蒜様(以下、畔蒜)：今年(平成18年)の2月ですね。最初にラミフィルム・リサイクル・プロジェクト代表の村井氏にお会いした時です。

ラミ通信：その時の感想を教えてください。「今まで廃棄していたラミフィルムを有価買取。マテリアル・リサイクル原料へ！」なんて、正直、眉唾かと思われませんでしたか？

畔蒜：実はこのお話をいただくより以前に、たまたまこの技術について耳にする機会があり、知識的なバックグラウンドがありましたから、「眉唾もの」という感じは持ちませんでした。むしろ、「こういった技術を取り入れることで、廃棄物であるラミフィルムがリサイクル可能になるなら非常に面白い。是非直接話を聞いてみたいなあ。」と興味を持ちましたね。(以下、次号へつづく)

さて次号では、ジェイフィルム成田工場・畔蒜室長のインタビュー第二弾をお届けします。はたして、畔蒜室長が当プロジェクトにご協力いただいた真意はどのようなものだったのでしょうか？導入に関するメリットは？障害は？気になるところですよね。次号もお楽しみに！

新入社員・えりのオトボケ日記 By:志賀口えり

わたくしシガチ、先週の日曜は先月横浜にできた話題の家具店・IKEA(いけあ)港北に行ってまいりました。北欧の会社なのですが、何がすごいって、安いんです！一部屋ぶん丸ごとそろえても10万円程度でカーテンからソファーまで全部そろってしまうんですよー！しかもオシャレで超かわいい！ヨメに行くときは、新居の家具は絶対IKEAで買わせていただきます！(しかし、一体いつその日が来るのでしょうか？まずは家具より相手探しが必要です。涙)

でも、一番すごかったのが待ち時間。なんと最寄り駅からお店までのシャトルバスが40分待ち。帰りはあまりに混んでいたため、仕方なくタクシーで帰りました。買い物だけでグッタリ疲れた週末となりました。やれやれ。



これがギロチン。上から降りてくる鋭い歯で太いロールをカットします。



完成したペレット。紙袋に詰められて出荷の日を待ちます。

メール配信をご希望の方、当プロジェクトに関心をお持ちの方、是非下記までご連絡ください。

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

事務局:株式会社・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

タイカソプラザ A館 415号室

TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第16号 (10月24日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです。今号は前号に引き続き、当ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトに初のラミリサイクル・ペレット商業生産用のラミフィルムを提供してくださった、ジェイフィルム成田工場・環境安全室長の畔蒜(あびる)様にご登場いただきます！

ジェイ・フィルム 畔蒜室長様インタビュー

ラミ通信代表・志賀口(以下、ラミ通信)：ラミリサイクル・システムを導入されるに当たって、どのようなメリットを見込まれたのですか？



ジェイ・フィルム 畔蒜室長。身振り手振りを交えて熱く語っていただきました！

ジェイフィルム成田工場・畔蒜様(以下、畔蒜)：やはり、まずは廃棄物の処分費の削減ですね。関東ではラミフィルムの処分費は25円～30円と高いですから。1円で買取り(注1)という条件は魅力です。もちろん、当社のような印刷メーカーはフィルムの不法投棄が一番怖いですから、「とにかく処分費が安ければいい」という考え方はありません。しかし、このプロジェクトに関しては、リサイクルの技術的なメカニズムに関して納得していたので、そういった心配はありませんでしたね。

むしろ、ラミフィルムはPETボトルのようなリサイクル・システムがまだ完成していない品であるところに非常に魅力を感じました。現時点では燃やして熱回収するしかないゴミであるラミフィルムで

ですが、そういう品のリサイクル・システムの開発・構築に力を貸すことこそ、社会的意義があると思うんですね。「これから、リサイクルシステムをゼロから作り上げるところに関わるなんて、これは非常に面白いし、価値がある！」と思いまして。

注1)有価買取1円/Kgについては一律ではなく、排出量、分別などの条件によって異なってきます。

ラミ通信：ラミリサイクル・システムを導入されるにあたってのハードルや、障害があれば教えてください。

畔蒜：分別ですね。今まで分別なしで廃棄していましたものを分別してもらうことが一番の課題でした。分別に専任のスタッフを付ける訳にはいかないので、ラミ廃材をヤードに持つて行く者が分別することになるのですが、「きちんと分別すれば、今まで捨てていたものの中にも有価になるものがある」という認識がまだ徹底していないために、リサイクル可能な品もまだ廃棄に回ってしまう事がありますね。しかし、実際の分別自体はさほど大変ではないです。当社では、ヤードにリサイクル用ラミフィルム置き場を設け、「PE/PET」、「PE/PA」(注2)の看板を出し、該当するラミ廃材をそこに持っていく方法を取っていますが、よくに問題はありませんよ。

現在の生産工程の中でも、社員にリサイクル意識を徹底すれば、廃棄ラミフィルムの量をもっと削減できる部分がいくつもあり、そこをどう工夫していくかが課題ですね。いずれにしても、まずは社員全体に「分別を徹底して無駄な廃棄物の発生を防ごう」という意識を当たり前のこととして共有してもらることが必要です。

注2 現時点では、当プロジェクトはPE/PET、PE/PA 2種類のラミフィルムを買入れています。間もなくPP/PETの買取も開始の予定です。アルミ付ラミフィルムについては、現在アルミ除去の技術を開発中です。

ラミ通信：最後に、今後のラミフィルム・リサイクル・プロジェクトへの期待をお願いいたします。

畔蒜：わたしたちは企業ですから、やはり費用対効果は最優先事項です。しかし、効率重視、コスト重視から安易にサーマルリサイクルに走り廃棄物削減の努力を怠るのは、企業として果たすべき責任を十分果たしていると言えません。ほんの少しの工夫や手間で、今までゴミとして捨てていたものがマテリアルリサイクルできるなら、企業はどんどんそういうシステムを導入していくべきだと思います。ラミフィルム提供第一号として、工場から出る廃棄物の量を削減しながら、かつ、このラミフィルム・リサイクル・システムが全国に広まって行くことに協力できるとすれば、こんないいことはないと思っています。システム普及、頑張ってください！

「やっぱり自分たちの子孫には、きれいな自然を残してあげたいよね。」と目を輝かせて語る畔蒜室長。さすが環境安全室長だけあって、環境への意識が高いです！他にも、今一番熱中されている野菜作り(なんと、腕前はプロの農家並み)の話などを楽しそうに語ってください、すっかり長いインタビューとなりました。さて、次回のリサイクル通信では、重要なお知らせを大発表いたします！次回もお楽しみに。

「新入社員・えりのオトボケ日記」はオヤスミします！

事務局：株式会社イーストネットワーク 担当：しがぐち
東京都新宿区西新宿7-1-7ダイソウフランガ A館 415号室
TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第17号 (11月16日P号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです。今回の17号では、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの今後の普及にあたり、大きな力となってくれるスゴイ秘密兵器をご紹介いたします！

これで残渣付きフィルムも怖くない！革新的・新洗浄器「Bun-Sen」大公開！

ラミリサイクル・プロジェクトがターゲットとしている積層フィルム廃材が出てくるのは、印刷工場だけではありません。全国に数百ある食品工場からも、フィルム廃材がたくさんでています。しかも、充填不良品など、中身が入っている場合も多いですからそりや大変！今までゴミとして廃棄されるのが当たり前でした。

ところが、そんな中身入り・残渣付きのフィルムのリサイクルに道を開く、すごーい機械に出会ってしまったんです！その名は、株式会社カネミヤ様開発の「Bun-Sen(ぶんせん)」。10月のある日、そのBun-Senのプライベートショーが開かれると耳にし、ラミ通信は早速取材を試みました。

Bun-Senを紹介してくださったのは、ラミ通信でも既にお馴染み・当プロジェクトメンバーのA社長。「私が樹脂のプロ中のプロと尊敬するA社長が薦める機械なら、絶対性能に間違いない！」と、わたくし担当・志賀口、勇んで会場に乗り込みました。



洗浄後、すっかりキレイになったフィルム。実物をお見せできず残念！



コレが噂のBun-Senです！

工場をのぞくと、既に数社の食品メーカーの方がBun-Senの周りを取り囲んでいます。しばらくBun-Senについての質疑応答などがあつた後、いよいよ運転開始です。ベットリ汚れのついた汚いフィルムがコンベアーからBun-Senの中に送り込まれて行き、スイッチON! 「ブーン」という大きな音(だからブンセンなのかな？)が辺りに響き渡ったと思うと、数秒後、出口から洗浄済みのフィルムがドサッとした出てきました。手にとってみると…、アレ？すっかりキレイになってます。一体あの汚れはどこに行っちゃったの？キレイになったフィルムを前に、狐につままれたような思いです。

こんなに汚れが落ちてしまうBun-Sen、実は、今までの水で洗う洗浄機とはまったく違い、高速回転と摩擦力によって汚れを落としているんですって！汚れたフィルムが機械に入ると、約2秒程で洗浄脱水が完了し、排出口より出てきます。水は汚れを浮かすために必要となるだけなので、対象物にもよりますが、一時間約20リットル程度の使用で大丈夫だそうです。うーん、コレはすごい！！

ちなみに、充填不良品など中身がたくさん入っている品の場合は、Bun-Senで洗浄する前に、姉妹機の分別機Bun-Bun(ぶんぶん)で、中身と容器を分別後、Bun-Senで洗浄します。当日、商談にいらしていた某・食品メーカー様の処理前、中身分別後、洗浄済の3つのサンプルを見せていただきましたが、不思議～～？！中身がキチンと出て、キレイになっています。ジャムやチーズ、調味料などがいっぱい詰まったパッケージも分別・洗浄できてしまうんですよ！

実はこのBun-Sen、今年7月の「環境展2006」で一度拝見しているのですが、実際に動いている機械を目の前にし、改めてその威力にびっくりしました！これから、このラミフィルム・リサイクル・プロジェクトを食品業界に普及していくための協力助っ人になってくれることは間違ひありません！

Bun-Sen、Bun-Bunについての疑問・質問は下記までお電話を！担当者・宮本さんがアナタの「？」に答えてくれます。 株式会社イーコス TEL: 03-3516-8051 担当:みやもと

新入社員・えりのオトボケ日記

By:志賀口えり

もともと弊社・ファイースト・ネットワークは廃棄プラスチック商社なのですが、私たちのお客様となるような業者様は、車でないと行けない田舎に工場を構えるのもよくあるケース。ところが、わたくしシガグチ、実は筋金入りのペーパードライバー。自動車学校の卒業検定の時に、あまりの運転の下手っぴ具合にあきれた教習官に、「きみは一生運転しないのが世の為、人の為だ。」といわれたトラウマで、免許取得以来一度も運転したことありませんでした。ところが、免許がなければ営業にも行けないとなると話は別。とうとう重い腰を上げ、先週の日曜、ペーパードライバー講習に向かいました。

教習官の運転で、まずは人気の少ない道へ向かいます。ここで運転者交代。オッカナビックリ車に乗り込み、恐る恐るアクセルを踏むと、アレアレ？案外運転できちゃうじゃないですか？！なんだAT車って超簡単～～ 免許を取った時はマニュアル車だったのですが、それが運転恐怖症の原因だったんですね。とにかく、これでもうどんな場所でも一人で行けます！バンザー！

メール配信をご希望の方は下記アドレスまでお知らせ下さい

また、当プロジェクトへのご質問などあればお電話を！

私・シガグチがお答えしま～す！

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当:志賀口

事務局:(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイカソプラザA館 415号室

TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第18号 (12月20日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。今日は、先日の号外でもお伝えした、環境ベンチャービジネスコンテスト「エコ・ジャパン・カップ2006」の表彰式と記念プレゼンの模様をお送りします！

環境省主催「エコ・ジャパン・カップ2006」3位！ 表彰式と記念プレゼンの模様

前回の号外で速報としてお伝えしたとおり、このたび、エコ・ジャパン・カップ2006（環境省など3団体による協同主催）の環境ビジネス部門にて、当プロジェクトがファイナリスト（3位）となりました！去る12月13日は、その表彰式が東京・銀座の日比谷三井ビルで行われ、プロジェクトを代表し村井社長と私・志賀口が表彰式に行ってまいりましたー！

当日は、エコ・ジャパン・カップ2006 各部門の入賞者およびファイナリスト達が招かれたほか、主催者の皆さんや審査をしてくださった環境カウンセラーの方々もまじえて懇親会が行われ、環境ビジネスに携わる方々と情報交換をする貴重な機会となりました。右の写真が懇親会での一枚です。偶然、以前にリサイクル通信17号でご紹介し



右が当プロジェクト村井、中央は同じくファイナリストの株カネミヤ・間瀬社長。

た食品残渣を除去する高機能洗浄機「Bun-Sen」を開発された株カネミヤ様も、当プロジェクトと同じくファイナリストに残られたとのことで、代表取締役の間瀬社長と一緒に記念撮影をさせていただきました！パチリ！



エコプロダクツ展・会場の様子。こんなに沢山の人が、環境に関心をもっているんですね！



お客様の前で、記念プレゼンテーションを行う当プロジェクト代表・村井。

翌日14日は、東京ビックサイトにて行われた展示会「エコ・プロダクツ2006」の会場にて、「エコ・ジャパン・カップ2006」のファイナリスト達の記念プレゼンテーションが行われました。

実はこの日はエコプロダクツ展の初日。「平日だし、そのうえ初日だし、きっと会場は閑散としているんだろうな…」という私たちの予想に反し、展示会は大盛況！社会化見学の小学生も沢山来ています、ノートをとりながら真剣に各ブースを見学しています。「こんなに沢山の方々が、しかも子供たちまでが、環境に高い関心を持つてゐるんだなー」と、リサイクル業に従事する私・志賀口はとっても心強い気持ちになりました。

さて、ファイナリストの記念プレゼンテーションですが、エコ・ジャパンカップ・ブース内の特設ステージで行われました。先月の包装技術協会・月例研究会での講演をはじめ、先月はプロジェクトについて公の場でお話しする機会が何度かあったため、プロジェクト代表・村井社長の発表ぶりもすっかり板についたもの。お客様を前にした記念プレゼンテーションも、つつがなく終了いたしました。

月間誌「プラスチックス」2006年11月号に掲載！

さて、当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトのキーポイントとなっているのが、大阪ガス㈱が開発した「異なる種類のプラスチックを分子レベルで結合させる添加剤技術」ですが、このたび工業調査会様発行の月刊誌「プラスチックス」11月号に、「相溶化技術を用いたPEガス管のリサイクルとその応用展開」というタイトルで、詳しい記事が掲載されました!! 添加剤を利用したラミフィルムのリサイクルについても言及されていますので、皆さん、要チェックです！しかし…、実はスペースの都合でなかなかラミ通信上でお知らせできず、その間に12月号が発売されてしまったため、11月号は書店にはもう並んでいません。m(_ _)m 「ぜひ読みたい！」という方は、書店でバックナンバーをお求めいただくなれば、または、「ラミフィルム・リサイクル通信」担当・志賀口までご連絡下さい！

さて、次号のラミ通信では、アルミ蒸着フィルムのペレット化トライアルの模様をお送りいたします。お楽しみに！

まだまだ 新入社員・えりのオトボケ日記

志賀口えり

もうすぐ新入社員
入社！でも…。

さて、以前のラミ通信で「4月から新入社員が入社するため、本コーナー名を変更しますが、いいアイディアをお寄せください」と皆様にお願いしたところ、なんと本当に応募がありました！いややや私シガグチもびっくりです。で、どんな候補が寄せられたかというと、
・「お局社員 えりのおトボケ日記」
・「先輩社員 えりのハリキリ日記」
・「ベテラン社員 えりの姐御日記」
などなど。一部失礼(笑)なタイトルもありますが、皆様のアイディアをヒントに、楽しい新コーナー名を決めようと思っています。皆様、ご応募ありがとうございました！！コーナー名が変わっても、今後ともおとぼけ社員・志賀口えりをよろしくお願ひいたします！

メール配信をご希望の方、また、当プロジェクトへのご質問などは下記問合せ先へ！

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当：志賀口

発行：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

事務局：㈱ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザA館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第19号 (1月5日号)
発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

アルミ、シリカ蒸着PETフィルム、トライアルの模様

明けましておめでとうございます、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！皆さん、楽しいお正月を過ごされましたか？今年もラミリサイクルニュースをよろしくお願ひします！

さて、ラミフィルムと並ぶ工場から出る廃材の困り者として、アルミ蒸着フィルムがあげられますよね？当ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトは、そのような蒸着系フィルムの処理にも眼を向けています。

本年第一回目の19号では、昨年11月に行ったアルミ蒸着、シリカ蒸着PETフィルムのペレット化トライアル実験の模様ご報告いたします！

今回のトライアル会場は、当プロジェクト発足以来たびたびトライアルを行っていた東京近郊の樹脂メーカーA社。長年の再生樹脂コンパウンド（⁽¹⁾）の経験からいただくA社からのアドバイスはプロジェクトの進展に無くてはならないもので、まさに当プロジェクトのブレーンといえます。こんな会社にご協力いただいているなんて、本当に心強い限りですよね。

（⁽¹⁾）コンパウンドとは、プラスチック成型を行う会社が求める物性に応じて再生樹脂を配合・ブレンドし最適な原料を作り出すことで、ここがマズイと上手く成型ができません。とっても重要な仕事なんです！

さて、今回使用したフィルムは関東の印刷メーカー様よりご提供いただいた、PETアルミ蒸着、PETシリカ蒸着の2点です。それぞれのフィルムを粉碎し、さらに大阪ガス開発の添加剤などと配合してまずは材料を作り、混練機に投入します。今回の蒸着PETフィルムは厚みが非常に薄く比重が軽いため、なかなか混練機に入っていかず一苦労しましたが、最終的にはストランド（混練機で溶かされた後、水槽内に押し出し・冷却されたヒモ状のプラスチックのこと。これをカットすると、再生プラスチックペレットができます。）もキレイに伸び、PETアルミ蒸着、PETシリカ蒸着とともに、無事ペレット化に成功しました！

A社では下のような機器を完備し、まず生産した再生ペレットの物性を測定後、ユーザーの成型メーカーが求める品質に合わせてブレンドし、最適な状態にして出荷しています。それが高品質の再生樹脂を提供できる秘密なんです！



今回使用のPETフィルムは、アルミ蒸着とシリカ蒸着の2種。まずは粉碎します。



アルミ蒸着ペレットから出来た試験片。折り曲げた部分の状態で、きちんと樹脂が混ざり合っているかがチェックできます。

出来上がったペレットで、早速A社長が物性試験用のプラスチック片を成型してくださいました。試験片を折り曲げたり伸ばしたりして、樹脂が十分相溶化されているかをチェックすると、うーん、イイ感じです。今後解決しなければならない課題はあるものの、まずは「アルミ蒸着フィルム、他の蒸着フィルムの再生原料化」という道のりが大きく前進しました。

さて、次号のラミ通信では、当プロジェクトを支える相溶化技術の開発に携わっている「プロジェクトの頭脳」こと、大阪ガス(株)のエンジニア・阪本さんにご登場いただきます！では次回もお楽しみに！

まだまだ 新入社員・えりのオトボケ日記

もうすぐ新入社員
入社！でも…。

早いものでもう一年が終わり、新年に突入ですね。皆さんの昨年一年はいい年だったでしょうか？私・シガグチにとっては昨年は激動の一年でしたが、その中でも、転職して現在の会社・株式会社・ネットワークに入社したことが一番のビッグニュースでした。これまでアシスタントや派遣社員をしていて、仕事を面白いなんて思ったことが無かった私ですが、ベンチャー企業に入社をし、分からぬことも右往左往しながら一人でやらなければならぬ大変なもの、日々新しいことを学ぶ環境に毎日が非常に充実しています。ということで、シガグチは今年の目標を「自分の限界に挑み、それを打ち破ってさらに大きな人間になる！」ということ決めました。今までやってこなかった事、出来ないと信じて避けてきた事にも今年は積極的に取り組んで行きます。まず仕事では、今まで苦手意識があり避けていた営業にチャレンジしお客様の役に立ちます！そして私生活では、「石垣島ドライブ」を完走を目指してがんばります！

志賀口えり

メール配信をご希望の方、また、当プロジェクトへのご質問などは下記問合せ先へ！

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当：志賀口

発行：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

事務局：株式会社・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザA館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第20号 (1月19日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。この間新年になったばかりと思ったのに、もう1月も3分の2になってしまいましたね。「アッという間に今年も終わつたなー」(ToT)など後悔しないよう、今日もプロジェクトをどんどん進捗させていくべく頑張っております！

さて、昨年より始動し始めたラミフィルム・リサイクル・プロジェクトですが、一体どんな人たちに支えられているのか皆様も気になりませんか？今回は、プロジェクト・メンバーのインタビュー・第4弾として大阪ガス



阪本 浩規(さかもとひろき)

1974年生まれ。和歌山県出身。東京大学・大学院工学系研究科(化学系)修了後、(株)大阪ガスに入社。エンジニアとして最先端の技術開発に携わる傍ら、20年間続けている栄養学とサプリメントの研究は本格的で、阪本氏による処方を試した人が続々体調を回復していくほど。頭脳派の反面、学生時代はサッカーチーム、野球部に所属していたスポーツマンでもある。

プロジェクト代表 村井社長から 阪本さんへのメッセージ



ラミフィルムのリサイクルがビジネススペース乗ったのも、ひとえに阪本さんが手掛けてくれた相溶化剤のコストダウンがあつてこそでした。対応の速さもピカイチです。環境に貢献したいという気持ちがとても強い阪本さんと、地球環境の改善という目標を目指し一緒に走ることがとても嬉しいです。これからも頑張ってください！

さて、次号21号では、阪本さんインタビューの後半をお送りいたします。次号もお楽しみに！

まだまだ 新入社員・ついのオトボケ日記

もうすぐ新入社員
入社！でも…

さて、入社8ヶ月を過ぎ、会社の一連の事務作業の流れもすっかり覚えました。それは、「仕事が立て込むとテンパってしまう」とこと。色々仕事を任されるようになってきたのは嬉しいのですが、業務が一度に押し寄せてしまった時に、何から手をつけたらよいかパニックになってしまふのです。そこで、始めたのが「イメージトレーニング」。最近では、甲子園で優勝した駒大苦小牧高校がイメージトレーニングを活用していたのが有名ですよね。

寝る前にイメージトレーニング用のCDを聞きながら、自分が能率的に仕事をしている姿をイメージ。たったこれだけなのですが、2週間ほど続けるうちにずいぶん精神的に余裕が出てきました。寝つきがよくなるという効果も得られ一石二鳥です！睡眠不足に悩むかたはぜひお試しを！

志賀口えり

*メール配信をご希望の方、また、当プロジェクトへのご質問などは下記問合せ先へ！

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当：志賀口

発行：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

事務局：(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザA館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

の・阪本浩規さんにご登場いただきます。阪本さんは大阪ガスで、樹脂を分子レベルで混合する「相溶化技術」の開発に携わっています。

ラミプロジェクトを支えるフレーン・

大阪ガス(株) 阪本氏インタビュー①

ラミ通信・志賀口(以下ラミ通信)：大学時代のご専攻は？また、大阪ガスに入社された理由を教えてください。

大阪ガス(株)・阪本氏(以下阪本)：大学での専攻は、環境・エネルギー関連の化学です。研究を通じて省エネに興味が芽生え、学生時代から「将来は環境貢献活動に携わりたい」という思いを持っていました。「どうせやるなら大きな規模で影響力のある活動をしたい。それなら企業に勤めるエンジニアとして環境保護に役立つ新技術を開発しよう」と思い、卒業後は出身地の関西の企業である大阪ガス(株)に入社しました。

ラミ通信：現在のお仕事について教えてください。

阪本：大阪ガスはもともとガスの会社ですが、実は本業のガス以外にもさまざまな技術開発を行っています。僕はエンジニアとして、このラミフィルム・リサイクル・プロジェクトで使われている相溶化技術の開発とともに、電子材料(液晶ディスプレイの部品)や光学材料(カメラレンズなど)の開発等幅広い業務に関わっています。最先端の電子・光学材料の開発は一見、環境やリサイクルの分野と無関係に見えますが、そこで出会った化学反応やアイデアが、相溶化技術の開発のヒントになることが多いんですよ。

ラミ通信：なるほど。そういう点では、このラミフィルム・リサイクルプロジェクトには化学の最先端知識が応用されていると言えるんですね！すごい！

(以下、次号に続きます)

包装タイムス 1月8日号に紹介されました！

ところで皆様、日報アイビー様発行の「週刊包装タイムス 1月8日号」をご覧いただきましたでしょうか？'07新春特別号 No.2の第10面「'07年・業界天気図エリア版」のページに、当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトの取り組みが紹介されています！会社でご購読中の方は、是非バックナンバーをチェックしてみてくださいね！また、同じく日報アイビー様の「食品包装」にも近々記事の掲載が決定しております。こちらも、掲載次第、追ってラミ通信でご紹介させていただく予定です！